

# 【R5年度】重点目標の取組・概要（妊婦・子育て家庭への伴走型支援と経済的支援[出産・子育て応援交付金支給事業]）

担当課（内線）	健康推進課子育て世代包括支援担当（内線6581）	重点目標の方向性	子育て世代の定住促進と「子育てしやすいまち」のイメージアップ
重点目標	子育てしやすい岸和田の実現	行政の役割	妊娠を望む家庭や子育て家庭の経済的支援を行う

## 現状と課題

核家族化が進み、地域のつながりも希薄になる中で、孤独感や不安を抱える妊婦・子育て世帯も少なくなく、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題である。

## R5年度の事業費（内訳）

- 138,785円  
（内訳）
- 会計年度任用職員報酬 7,072千円
- 会計年度任用職員費用弁償 107千円
- 消耗品費 300千円
- 印刷製本費 60千円
- 通信運搬費 246千円
- その他の委託料 3,000千円
- 補助金 128,000千円

## 課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）

### 【中期的(4～5年後)にめざす成果】

- ニーズに即した効果的な相談支援を提供することで、孤立感や不安感を抱く妊婦、子育て家庭が減少する。
- 経済的支援を実施することで、産後ケア事業等の利用料が発生するサービス利用時の負担が軽減され、必要な支援につながる。

### 【成果に向けての各年度の進め方】

- （R5）遡及対象者にはアンケート実施と給付金を交付する。事業開始日以降の対象者には、アンケートに加えて面談を実施して給付金を交付する。必要に応じて、相談対応や情報提供等を行う。
- （R6以降）引き続き出産子育て応援交付金事業を実施する。現金給付から別の方法（カタログギフトや電子クーポン等）を検討する（国の方針のため）。

### 【R5年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】

- 経済的支援：R4年4月1日以降に妊娠届出をした妊婦、または出生した児童の養育者に妊娠届出後に5万円、出生届出後に5万円を給付する。
- 伴走型相談支援：全ての妊婦及び主に0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯を対象として、アンケートや面談等を通じて妊産婦の健康状態、家庭の状況等を把握し、妊娠出産後の見通しや過ごし方、育児支援サービス等の地域資源の情報提供等を行う。

## R6年度以降の想定事業費（ランニング経費）

- （R6） 138,785千円
- （R7） 138,785千円
- （R8） 138,785千円

## 取組の進捗・成果を測る指標

- 相談支援率（妊娠中）  
90%[R5]→90%[R6]→90%[R7]
- 相談支援率（産後）  
95%[R5]→95%[R6]→95%[R7]

## 成果・指標が未達成の場合の取扱い

- （R6）前年度を踏まえ継続、改善
- （R7）前年度を踏まえ継続、改善
- （R8）前年度を踏まえ継続、改善
- （R9）前年度を踏まえ継続、改善

# 【R5年度】重点目標の取組・概要（妊婦・子育て家庭への伴走型支援と経済的支援[出産・子育て応援交付金支給事業]）

## ロジックモデル【事業立案時点】



## その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について など）

### 【財源】

- 出産・子育て応援交付金
  - 令和4年度2次補正 国2/3、府1/6、市1/6
  - 令和5年度伴走相談 国1/2、府1/4、市1/4
  - 経済的支援 国2/3、府1/6、市1/6（クーポン発行(国)10/10)

### 【他団体の状況】

- 堺市 令和5年2月中旬以降、アンケートと給付金申請に関する案内を送付
- 和泉市 情報なし
- 貝塚市 令和5年2月中旬に発送を開始する案内通知
- 泉佐野市 令和5年1月中旬に健康推進課から申請書類等を送付

# 【R5年度】重点目標の取組・評価シート① (妊婦・子育て家庭への伴走型支援と経済的支援[出産・子育て応援交付金支給事業])

担当課（内線）	健康推進課子育て世代包括支援担当（内線6581）	重点目標の方向性	子育て世代の定住促進と「子育てしやすいまち」のイメージアップ
重点目標	子育てしやすい岸和田の実現	行政の役割	妊娠を望む家庭や子育て家庭の経済的支援を行う

## ■ 中期的にめざす成果に対する達成度

おおむね  
達成

- ニーズに即した効果的な相談支援を提供することで、孤立感や不安感を抱く妊婦、子育て家庭が減少する。
- 経済的支援を実施することで、産後ケア事業等の利用料が発生するサービス利用時の負担が軽減され、必要な支援につながる。

## ■ R5年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）

達成

- （R5）遡及対象者にはアンケート実施と給付金を交付する。事業開始日以降の対象者には、アンケートに加えて面談を実施して給付金を交付する。必要に応じて、相談対応や情報提供等を行う。

## ■ R5年度において実施・実現できたこと

- 経済的支援：遡及対象者を含め、出産応援ギフト5万円を2961件、子育て応援ギフト5万円を2961件に交付した。支給通知の返戻者には電話連絡や訪問により全員に対応した。また、申請期限近くになり申請がない対象者には電話、文書で申請を促した。
- 伴走型相談支援：全ての妊産婦にアンケートや面談等を通じて妊産婦の健康状態、家庭の状況等を把握し、妊娠出産後の見通しや過ごし方、育児支援サービス等の地域資源の情報提供等を行うことができた。
- 妊娠届出時等に妊婦1312件と面談を実施。その他、妊娠8か月アンケート送付により、23件の面談申込があった。

## ■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R5年度実績値
○	相談支援率（妊娠中）	%	90.0（R5）	90.0（R7）	99%
○	相談支援率（産後）	%	95.0（R5）	95.0（R7）	100%
○	面談申込件数	件			23件
○	給付件数	件			5112件

### ■ R5年度において実施・実現できなかったこと

- 予定していた取組みを実施することができ、目標値を達成することができた。
- 妊娠の届出なく出産に至り、妊娠中に支援できない妊婦がいた。

### ■ 課題分析

- 妊娠届出なく出産する妊婦は、経済的、養育的な問題を抱えていることも多い。

### ■ ロジックモデルの振り返り

- 引き続き出産・子育て応援交付金支給事業を実施することで、アウトカムの発現に努める。

### ■ 次年度以降の予定・改善内容

- 令和6年度においても、引き続き出産・子育て応援交付金支給事業を実施する。